

10月19日(土)、記念式典を挙行政します

午後1時30分～
市民会館大ホール

市は、芦別120周年・市制施行60周年記念式典を10月19日(土)午後1時30分から、市民会館大ホールで挙行政します。式典後は、本市にゆかりのある評論家・寺島実郎氏の講演のほか、本市出身で株式会社代表取締役社長の横山清氏らによる「ふるさとトーク」を行います。市民の皆さんぜひご来場ください。

市民の皆さんのご参加を
お待ちしております

芦別120周年・市制施行60周年記念式典のスケジュールと内容 会場はいずれも市民会館大ホール

◆記念式典	
午後1時30分～ 2時50分	芦別獅子演舞によるオープニング 功勞者表彰 記念標語の発表と表彰など
◆講演会	
午後3時～ 4時30分	◎講師/株式会社三井物産戦略研究所会長 寺島実郎氏 ◎演題/「世界の構造変化と北海道の21世紀 —地域活性化をどう考えるか?」
◆ふるさとトーク	
午後4時40分～ 5時40分	清澤茂宏市長と横山清氏(株式会社アークス代表取締役社長)、坂田憲正氏(芦別商工会議所会頭)、石岡祐二氏(一般社団法人・芦別青年会議所理事長)による座談会 ◎テーマ/「ふるさとを語ろう! ～芦別の思い出・これからの芦別へ～」

※参加者には協賛団体等のご厚意によりお祝の品が贈られます

1893年「芦別誕生」

「芦別」は、1893(明治26)年に山形県人の佐藤伝次郎氏が、現在の歌志内からパンケホロナイ(常磐)に移り住んだのが始まりとされています。

その後、富山県や石川県、福井県などから現在の常磐町や福住町などに続々と移住し、徐々にマチがかたちづ

てらしまじつろう 講演者・寺島実郎氏のプロフィール

1947(昭和22)年、北海道沼田町生まれ。明治鉱業幹部だった父親の仕事の関係で、幼少期に2年ほど芦別で過ごす。早稲田大学大学院政治学研究所修士課程修了後、三井物産社員を経て、現在、株式会社三井物産戦略研究所会長、一般財団法人日本総合研究所理事長、多摩大学学長などを務める。ニュースコメンテーターとしてのテレビ出演や著作も多数。



くられてきました。1900(明治33)年、村制施行により、当時の歌志内村から分離して「芦別村」となり、1941(昭和16)年に町制施行。1953(昭和28)年には、北海道内16番目の市となる「芦別市」が誕生し、現在に至っています。

この間、農業をはじめとして、石炭産業や商工業の発展などで一時代を築くとともに、これらを背景にさまざまな文化が育ちました。

記念式典は、先人の英知により、幾たびかの苦難を乗り越えて築き上げてきた歴史や自然豊かな地域の魅力を再認識し、未来への新たな飛躍を願って市民の皆さんとともに祝いするものです。

記念式典など一連の行事に関する問い合わせは
まちづくり推進係まで